

子供にお勧めの英語の動画 パート2

8月のアークアカデミー通信では、幼稚園以下の子供にお勧めの動画を紹介させていただきましたが、今回は小学生用の動画を紹介させていただきます。ちなみに我が家では、コンピュータやタブレットでは見せずに、テレビでYoutubeの動画を見せしています。便利な時代になったとつくづく感謝しています。

英語の習得を目的として子供に英語の動画を見せる場合、いくつかのポイントがあります。「ベビシッター」として動画を利用しないように注意したいですね。

- ① 親もなるべく一緒に見る。親が興味を示し、率先して「楽しむ」姿を子供に見せるのは大切だと思います。子供だって一人で見るのは寂しいですね。
- ② 強制しない。いくら親が良いと思って見せても、子供は興味がないかもしれません。一方、興味があるものは子供は何度も繰り返し見ます。「おもしろい」と感じてこそ、学習効果が上がるので、つまらなそうにしていれば、さっさと別の動画に移りましょう。
- ③ 興味のある動画は繰り返し見せましょう。1回ではなかなか内容が理解できないもの。最低3回以上見せてあげると、フレーズや単語を覚える事ができます。

下記の動画は小学生向けですが、語彙や内容的な面でもかなりレベルアップしています。このレベルが分かるようになれば、子供としてはかなりの英語力です。

Wild Kratts

アメリカの教育番組チャンネル「PBS」が制作。我が家の子供達も一時期はまりました！ Krattsブラザーズという実際の兄弟が、アニメの中で「Creature Power」を使って、鳥に変身して空を飛んだり、サメに変身して水の中に潜ったり。楽しいサイエンス番組です。



Ben & Holly's Little Kingdom

絵がかわいらしいアニメ。ベン（妖精）とホリー（王女）の2人を主人公とする王国の物語。子ども向けですが、1話11分間でストーリーがきれいにまとまっていて、大人の英語学習にも使えるほどです。日常会話に使えるイギリス英語の表現が満載です。



SESAMI STREET

言わずと知れた、アメリカの子供たちに大人気の幼児教育番組。すべてにおいてクオリティが高い教育番組。英語はかなり早口で、慣れないと聞きとりづらいかもしれません。



BBC Earth

子供向けの番組ではないのですが、気分転換に親子で楽しめる番組を紹介します。ちょっとした空き時間などに見るのにおすすめです。野生動物のミニドキュメンタリー。野生動物たちのレアな営みをとらえた迫力満点の映像が衝撃的です。動物好きのお子さんなら楽しめると思います。



新着情報・お知らせ

●《重要》翌月からの各種変更（休会・退会など）の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●10月27日（火）～10月31日（土）は恒例のコスチューム（ハロウィーン）ウィークです。好きなコスチュームを着て通常クラスにご参加ください。

●4月～8月までの子供達のクラスの様子を報告書（evaluation）にてお伝えいたします。随時お渡しいたしますので、お確かめください。

●第2回英検は受験者が定員に満たず、当校での開催は中止になりました。

●多読アプリ有料貸し出し受付中：

- ①多読アプリ+フォニックスアプリ 600円/月
- ②多読アプリ 400円/月

●ホームワーク等は引き続きGoogleカレンダーで掲載しております。ホームページの【会員限定ページ】でご確認ください。パスワードは _____ です。

●《9月～10月の振替日》11月以降は振替ページをご参照下さい。振替の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	9月19日（土）10月10日（土）
キッズ①&①+	9月26日（土）10月17日（土）
キッズ②&②+	9月15日（火）10月13日（火）
キッズ③&③+&キッズ④	9月29日（火）10月27日（火）
キッズ④+/中学生	9月12日（土）10月10日（土）

ARK ACADEMY



フェイスブック



インスタ



ホームページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1
Tel / Fax : 079-563-3132

アークアカデミー英会話教室

アークアカデミー通信

News Letter Sep 2020



★CONTENTS★

- はじめに ■英検合格おめでとう！
- なぜ日本の子供は「間違え」事に恐れを感じるの？
- 新着情報・お知らせ ■今月の誕生日
- 英検Jr実施のお知らせ
- 子供にお勧めの英語の動画

はじめに

10月に当教室で予定していた英検ですが、今回はコロナによる間接的な理由が重なり、受験希望者が所定人数に満たない為中止となりました。受験を希望していた皆さん、申し訳ございませんでした。英検3級以上からライティングも出題されますが、当教室では添削コースを設け、英語エッセイのサポートをさせていただいております。

日本の学校でエッセイは「随筆」を指す場合が多く、「味わい深く情緒的な不定形の文章」がよとされる傾向があります。子供だけではなく親(?)も悩まず「夏休み読書感想文」は、まさに情緒的・感情的・味わい深い文章が求められているように思います。こういう文章の形態になれてしまうと、「自分の主張をはっきり伝える、形式の明確な文章」がなかなか書けなくなってしまいます。

一方、アメリカの学校教育の大目的は、「民主主義を守る子供を育てる」とことで、「自分の意見を、相手にしっかり伝える」教育は重要とされています。エッセイの学習は「自分の意見をまとめ、相手に伝える文章表現のトレーニング」で、小学校高学年から中学・高校へと繰り返し続けられます。論理的思考能力を養う事が、教育の核のように思われます。

論理的思考能力を養う事って、今の時代増々重要になってきていると思います。高校野球はNGだけどプロ野球はOK。帰省はNGだけど旅行はOK。飲食店はNGで、ギューギュー詰めの満員電車はOK。除染した土を農地に再利用OK等、こうした支離滅裂な事に慣れてくると思考力が奪われてきます。その一方、「絆」や「おもてなし」「特別な夏」など、感情に訴えかけるようなスローガンがやたらと多いうようにも思います。

英検テストが、言語そのものの習得だけに留まらず、エッセイを通して、論理的思考訓練の場として活躍してくれるといいですね！

なぜ日本の子供は「間違う」事に恐れを感じるの？

アフリカ研究に没頭していた学生時代。その頃の私の頭の中はアフリカ一色だったような気がします。アフリカって日本とはいろんな意味で対局に位置しているような土地で、自分が持っていた常識をことごとく覆されました。

その後アフリカ以外の外国も訪れるうちに、日本の常識こそが世界の非常識なんだと思うようになりました（笑）。バスや電車が時間通りに来る事なんてほとんどないし、道を聞いても適当だし、注文した料理は出てこないし、定価なんてあってないようなものだし、日本の常識からだ間違えばかりです。だからこそ、間違いに対してとても寛容だと思える事がしばしばありました。おっちょこちょいの私は失敗を本当にたくさんしてきました。でも、「しょうがないね、人間だから。でも同じ間違いはしないように気をつけようね。」という柔らかなクッションがあったので、失敗から多くを学ぶ事ができました。

一方日本にいて感じるの、「こうあるべき」という事がやたらと多い事です。和を保つための暗黙の合意があり、それがよい意味で機能する時は、世界でも稀に見るくらい素晴らしい国民性を発揮します。でも何らかの危機的な状況や、思いがけない厄災が発生したときに、その「こうあるべき」という暗黙の合意が、今回のコロナの件でも見られるような「自粛警察」なるものを生み出したり、多様性を排除する動きを助長したりするのなとも思います。

何が言いたいかというと、英語を学習する上で、この「間違いに対して不寛容な空気」は大きな弊害になるのでは、という事です。子供達を観察していると、年齢が上がれば上がるほど、間違いに対しての恐れが大きくなる傾向があります。あんなに活発におしゃべりしていたのに、高学年になった途端、ほとんど発話しなくなったな～と思ってしまう生徒さんも少なくありません。もちろん、自我に目覚める時期、自分や他人の存在が必要以上に気になる年齢という事もあるかと思いますが、でもそれ以上に、間違っただけでいいけない、間違いはダメなこと、間違う事は恥、という一種の呪縛のようなものを感じてしまうのです。

でも言葉は間違いながら習得するもの！使って、直して、使って、覚える。この繰り返し。もちろんスペルなど明らかに「正解・不正解」で判断できる事もありますが、いろんな言語がミックスされ、日々進化（変化？）している英語はスペルや文法、発音の仕方でも国によって違うし、例外だらけなのが英語の特徴なのです。

この「間違いに対する異常なまでの恐れ」はどのように作られるのか、理由はいくつかあると思いますが、その一つは、大学受験を核とする日本の教育システムではないかとも思います。日本の一般的な教育は、「正解・不正解」を判別する能力を育成する傾向にあるなど、テストの内容を見ていると感じます。例えば、英語だけでなくすべての記述式テストにおいて書き間違えというのは致命的です。漢字を間違えるのもひらがなを書き間違えるのも全部×になってしまいます。文法、出題の意図には合っているのに一か所スペルミスがあるだけで×になります。完璧でないで減点になってしまう、こういったマインドセットがゆっくりにじりじり「正・誤」という二元的な思考を作り上げていくような気がしてなりません。このように世の中を「正・誤」という二元的な思考で見ると、間違いを成長の過程として楽しむ余裕がなくなってしまうと思うし、すべての事に対して正しい答えがあるはず、という妄想を育ててしまうようにも思います。

このような二元的な価値観が蔓延していると、完璧でないと英語を発話したくない、という気持ちになるのもしょうがないのかもしれませんが。英会話の先生は、「どんどん間違いながら英語を学習しましょう」といメッセージを発信するのですが、一方学校からは「一つでも間違ったら

減点しますよ」というまったく違うメッセージを植え付けられます。「みんな違ってみんないい」というメッセージと並行して、「人と違う事をしたら、内申点で減点された」という事もしばしば。ダブルスタンダードの狭間で子供達も混乱してしまいますよね。

ちなみにアークアカデミーは英語の多読を強くお勧めしていますが、多読が良いと思う一つの理由は、分からない単語はあまり気にせず、文脈から意味を読み取る訓練ができるからです。一般に、学校の国語授業では行われるのは精読です。1つ1つの文を事細かに分析し、正しく理解する事を重要とします。でも一つ一つの単語に囚われすぎると、全体が見えなくなってきます。コミュニケーションにおいても間違いに気を囚われすぎると、その本質がつかめなくなってきます。会話の途中で知らない単語が出てくると、その途端頭が真っ白になって、会話についていけない人も多いと思います。文脈（相手の表情、タイミング、声のトーンなど、言葉以外の事も含みます）から細部を察する力は、コミュニケーションにおいて、とても重要な技術なのです。

「人前で間違いたくない」という恐怖観念は、文化によって形成されている場合が多いと思うので、「日本」という価値観を絶対視せず、自分達の持っているものの見方や考え方のバイアス（偏見）を少しづつ取り除いていければ、もっと気軽に英語学習を楽しめるのではないかと思います。

Happy Birthday



おめでとうございます！！

英検合格おめでとう！！



4月に行われた第1回英検テストで、小学6年生のAmiちゃんが準2級、同じく小学6年生のAyaneちゃんが2級に合格しました！努力の成果ですね！本当におめでとうございます。

この二人の生徒さんに共通していることは、英語の本をたくさん読んでいて、という事です。毎日コツコツと英語の多読に取り組んでおり、英語を読む事が習慣化されていて、感心の一言です。英語の習得は時間がかかるもの、でも小学生の時期に時間を味方につけ、発話に必要なインプット量を確保できているので、これからグングンと更に実力が伸びると思います。You did a great job!

英検Jr実施のお知らせ

親御さんたちは、「うちの子英語を習っているけれど、どのくらいわかっていいのかしら・・・。」と心配になる事があるかと思いますが。また、お子さんも1年前と比べてどれだけ上達しているか、自分自身ではなかなかわかりにくいと思います。

英語の習得は1年や2年といった物差しではなく、これから一生つきあっていくものだどと覚悟(?)した方がいいと思いますが、何か目標があれば子供も頑張れるし、また、よいスコアが取れば自分に自信がつかますね！アークアカデミーでは、英検Jr.試験を毎年秋に開催しており、生徒達のやる気をアップするお手伝いをさせていただいています。

テストはCDを使ったリスニングテストとなります。ブロンズ・シルバー・ゴールドとグレードが分かれており、お子さんのレベルに合わせて受験していただけます。この3つのグレード分けの基準は英検Jrのパンフレットをご参考ください。

未就学児や小学校低学年生の受験の場合、英語の実力以前に、問題の意味が理解できる・座って30分集中することができる・回答の仕方が分かる、鉛筆が持てる等、受験にあたっての基本的な技術が要求されますので、まず担当の日本人スタッフにご相談されることをお勧めします。

英検Jrを初めて受講される方は、参考書や英検JRのホームページ等でテストの傾向を確認してみてくださいね！

試験日	11月1日(日)
申込締切り	9月24日(木)
試験会場	南ウッディタウン駅前校
費用	英検パンフレットをご覧ください。
時間	☆ ブロンズ 10:00~10:30 ☆ シルバー 10:45~11:20 ☆ ゴールド 11:35~12:20

●教室用申込用紙にご記入の上、受験費用とともにスタッフまでお渡し下さい。釣銭のないようお願い致します。